

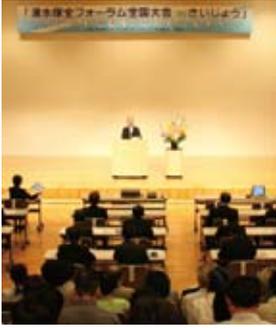
開催報告 湧水保全フォーラム全国大会 in さいじょう

これまでも水、これからも水！

石鎚山系からの伏流水が自噴する西条市の湧水（名水百選「うちぬき」・昭和60年環境省選定）は、市民生活に欠くことのできない命の水であり、心安らぐまちの象徴となっています。この湧水と市民生活が共存している西条市の取り組みを全国に伝えるとともに、全国各地の湧水保全活動に学び当市の湧水を未来に残していくために、今、何が必要なのかを考える「湧水保全フォーラム全国大会 in さいじょう」これまでも水、これからも水」を、秋篠宮さまのご臨席のもと、去る10月12日に関係者や市民の皆さんなど約250人の参加を得て開催しました。

■基調講演・調査報告

フォーラムでは、まず総合地球環境学研究所の秋道智彌名誉教授に「湧水がむすぶ地域の自然・文化・産業」と題した基調講演をいただいた後、同研究所の中野孝教授から当市の水質マップに関する調査報告がありました。



▲盛大に開催されたフォーラム



▲中野孝教授



▲秋道智彌名誉教授

■意見発表

調査報告の後には、岩手県大槌町の佐々木健氏、山形県遊佐町の菅原善子氏、西条自然学校の山本貴仁氏、県総合科学博物館の小林真吾氏ら4人から、湧水保全に関する取り組みの紹介を含めた意見発表がありました。



▲小林真吾氏

▲山本貴仁氏

▲菅原善子氏

▲佐々木健氏

■パネルディスカッション

休憩をはさみ、岐阜経済大学の森誠一教授がコーディネーターとして4人に加わり、テーマを「これまでも、これからも水とともに」とした、湧水環境の保全に関するパネルディスカッションも行われました。



▲パネルディスカッションの様子



▲森誠一教授



■ポスター展示など
また、会場の総合文化会館のエントランスホールでは、全国からの参加団体や市内の各種団体が、水資源や水環境の保全に関わる諸活動を発表するためのポスター展示がありました。



▲総合文化会館のポスター展示の様子

■未来へ向けて

西条市では、これまでこの湧き出（いず）る自然の恵みを活かしたまちづくりを進めてきましたが、引き続き市民・事業者・行政が一体となって当市の湧水を未来に引き継ぐための取り組みを進めてまいります。

■問合せ 市庁舎別館環境衛生課 水・環境保全係
TEL 089715211382